

## 5 愛島地区の災害予防計画

みんなで災害予防活動に取り組みましょう。

### 個人でできること（自助）～自分の命は自分で守る～

#### 1 転倒防止対策の実施

家具類の固定のほか、配置に工夫し、高いところには重い物を乗せないようにしましょう。また、タンスや食器棚等のドアが開かないよう防止することも有効です。

#### 2 非常持出品と災害備蓄品の準備

自分で持てる程度の非常持出品を用意するとともに、飲料水や食料、懐中電灯や携帯ラジオ、救急用品などを準備しましょう。



#### 3 災害に対する話し合い、事前の取決め

愛島地区防災マップ（11 ページ、12 ページ）を確認し、家族の状況（14 ページ）、我が家の状況（15 ページ）などに書き込んで、家族で確認しましょう。

#### 4 防災訓練への参加

実際に訓練しないと、いざという時に行動できません。自主防災会や地区の防災訓練に参加しましょう。

#### 5 隣近所とのコミュニケーション

いざという時に協力しあえるよう、日頃から近所の方とコミュニケーションをとり、声を掛け合える関係を築きましょう。

### 町内会・自主防災組織でできること（共助）～自分たちの地域は自分たちで守る～

#### 1 災害時の役割分担や活動マニュアルの確認

役員交代の際など、安否確認、避難誘導などの役割分担や活動手順を確認しましょう。

## 2 一時避難場所の確保

想定する災害ごとに、どこに避難するかを考え、町内会、自主防災組織で、地域の一時避難場所を定めましょう。

## 3 防災訓練や啓発活動の実施

安否確認や防災マップによる避難訓練、炊出訓練や防災講話などにより、防災意識の啓発を行いましょよう。

## 4 防災資機材の準備

地域の一時避難所へ防災資機材を整備し、使用できるようにしておきましょう。

## 5 災害時要支援者への支援

市と連携して高齢者などの災害時要支援者への支援方法を検討し、災害時要支援者を確認しておきましょう。

## 6 特色のある取組

町内では、次のような取組を行っている組織もあります。

- ・消防署や消防団と連携し、防災訓練を実施しています。
- ・町内会の役員、民生委員による高齢者情報を共有しています。
- ・周辺企業との、企業連絡網を作成しています。



初期消火訓練



応急手当訓練

### 愛島地区でできること（共助）～地域ぐるみの防災体制をつくる～

愛島地区では、愛島地区の自主的な防災活動を推進するため、平成 27 年 7 月に「愛島地区自主防災協議会」が設立されています。

協議会では、今後地域と話し合いを行いながら、地区防災体制の構築、合同防災訓練の実施、地区防災講座や研修会の実施などを図ってまいります。

## 6 避難所の開設・運営への協力について

### ●東日本大震災の避難所運営

愛島公民館には、震災当日から住民やグループホームの入居者など最大 150 人が避難しました。停電や断水の中、近隣の方が石油ストーブを提供したり、食材の提供や炊出しを行ったりしました。また、愛島台では、愛島台二丁目集会所で沿岸部などからの避難者最大 100 人を受け入れ、支援しました。

### 町内会・自主防災組織を中心に、助け合って避難生活を送りましょう

市職員や施設職員の指示に従い、町内会や自主防災組織の役員を中心に次の協力をお願いします。

#### 1 避難時の注意

避難が必要な場合は、電気のブレーカーやガスの元栓を閉め、非常持出品を持って避難しましょう。困っている人には、声をかけ、積極的な支援をお願いします。

#### 2 避難所の開設・避難者の収容

建物の安全が確認されるまで、町内会ごとに建物の外で待機し、職員の指示に従い避難所に入ります。

#### 3 初期の避難生活 ～避難勧告などが解除されるか、電気・水道の復旧まで～

避難人数の確認、避難者名簿の作成、簡易トイレの設置、市からの食料・物資の配布などについて、協力をお願いします。小学校と公民館には市の防災倉庫があり、発電機や投光器、簡易トイレなどの備蓄品が配備されています。

#### 4 長期の避難生活

町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を行います。

避難所では、高齢者や妊産婦などの災害時要支援者を思いやり、女性や子供に配慮してより良い環境を作りましょう。



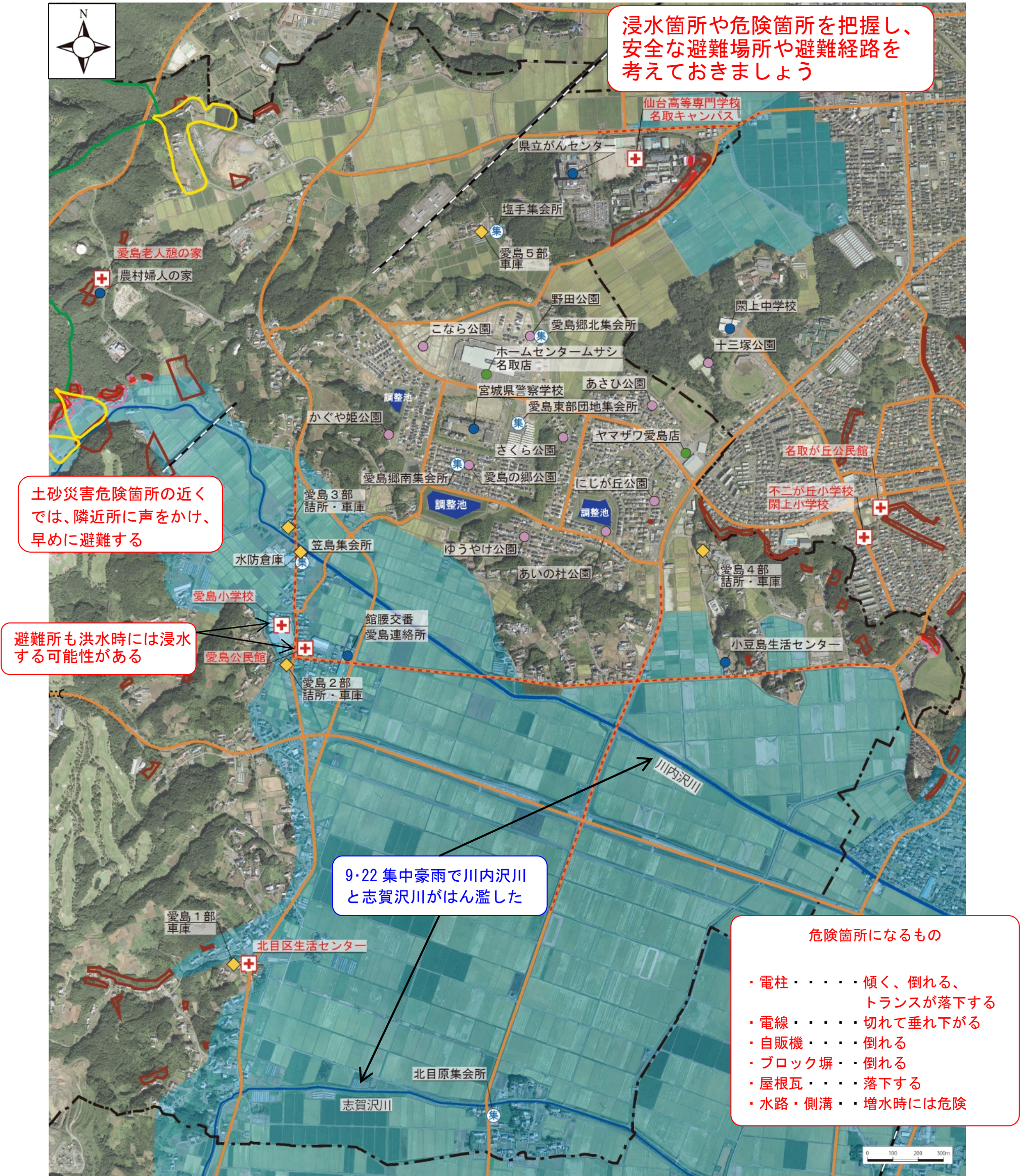
愛島小学校防災倉庫

### ●避難所への物資の持ち寄り

救援物資は、発災直後は届きません。市からの支援が届くまで、各自で食料や防寒着、ミルクやオムツ、毛布などを持ち寄ることが重要です。

# 7 愛島地区防災マップ

## (1) 愛島、愛の杜



凡 例						
	指定避難所		公共施設		土石流危険渓流	土石流のおそれがある渓流
	消防団詰所、車庫		公園		土石流危険区域	土石流の影響が予想される区域
	主な道路		主な民間施設		急傾斜地崩壊危険箇所	がけ崩れのおそれがある、勾配が30度以上で高さ5m以上の斜面で、人家などがある箇所
	河川		集会所		土砂災害特別警戒区域 (指定予定)	土砂災害が発生した場合、建物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生じる恐れがある区域
	地区境界線		浸水の恐れのある道路		土砂災害警戒区域 (指定予定)	土砂災害が発生した場合、生命や身体に危害が生じるおそれがある区域
	9.22水害時の浸水範囲					

(2) 愛島台



凡 例						
	指定避難所		公共施設		土石流危険溪流	土石流のおそれがある溪流
	主な道路		公園		土石流危険区域	土石流の影響が予想される区域
	河川		主な民間施設		急傾斜地崩壊危険箇所	がけ崩れのおそれがある、勾配が30度以上で高さ5m以上の斜面で、人家などがある箇所
	地区境界線		集会所		土砂災害特別警戒区域 (指定予定)	土砂災害が発生した場合、建物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生じる恐れがある区域
	9.22水害時の 浸水範囲				土砂災害警戒区域 (指定予定)	土砂災害が発生した場合、生命や身体に危害が生じるおそれがある区域

全国で発生した災害から災害時の行動を考えましょう。

災 害	状 況	教 訓
<b>越谷市の竜巻</b> (H25. 9. 2) (風速 50～69m)	発達した積乱雲により竜巻が発生し、長さ 19km、幅 300mにわたり、家屋や屋根が吹き飛ばす、ガラスが飛び散るなどの被害が発生した。	埼玉県で全壊 12 棟、半壊 31 棟、重症 7 人、軽症 56 人⇒ <b>竜巻や積乱雲の前兆現象を見たら屋内に入る。</b>
<b>伊豆大島の土砂災害</b> (H25. 10. 16) (時間雨量 100mm 超)	台風 26 号により、伊豆大島で 1 時間に 100 mm 以上、24 時間で 824 mm の記録的な大雨となり、大規模な土砂災害が発生した。	大島町で、全壊 46 戸、死者・行方不明者 39 人⇒ <b>土砂災害から命を守るためには避難が必要</b>
<b>平成 26 年 2 月の大雪</b> (H26. 2. 14～16) (山梨県で観測史上最大の大雪)	前線を伴った低気圧が発達し、各地で大雪となり、9 県で 26 人が死亡、全国で重症 118 人、軽症 583 人の被害が発生した。120 年間 50cm 以上の雪が積もらなかった山梨県に 100cm 以上の雪が積もった。	死者は、倒壊した車庫等の下敷きで 7 人、屋外で 7 人、車内の一酸化炭素中毒等で 5 人、除雪事故で 4 人、上部からの落雪で 3 人⇒ <b>不要な外出を控える。</b>
<b>長野県南木曾町の土砂災害</b> (H26. 7. 9) (時間雨量 80mm)	局地的豪雨により、大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報発表前に土砂災害が発生した。白い雨 (80mm 以上の雨) が降ったら、蛇がぬける (土石流が起きる) との石碑があった。	局地的豪雨では、警報が間に合わない場合がある⇒ <b>雨の降り方から自己判断が必要な場合もある。</b>
<b>四国地方の大雨</b> (H26. 7. 7～11) (累計雨量 1, 000mm 超)	台風 11 号と前線により、四国から東海にかけて 600 mm を超える大雨となり、5 県で 6 人が亡くなった。 高知県では累計雨量が 1, 000 mm を超えたが、死者はなかった。	川と海水浴場で 3 人、落雷で 1 人が亡くなった⇒ <b>不要な外出を控える。台風の常襲地帯では、風水害への備えが徹底している。</b>
<b>広島県の土砂災害</b> (H26. 9. 20) (時間雨量 100mm 超)	1 時間に 100mm を超える猛烈な雨により、土砂災害が発生し 74 人が亡くなった。	就寝中に予期せぬ猛烈な雨になることもある⇒ <b>雨音や雷から状況判断が必要</b>
<b>長野県北部地震</b> (H26. 11. 22) (最大震度 6 弱の直下地震)	22 時 8 分頃、長野県北部を震源とする地震が発生。白馬村で建物が全壊し、住民が閉じ込められたが、近隣住民の速やかな救助活動により、全員無事に救出された。	直下地震で建物が倒壊したときなど、 <b>個人の力ではどうしようもないとき、隣近所、町内会などの共助が力を発揮する。</b>
<b>平成 27 年 9 月関東・東北豪雨</b> (H27. 9. 9～11) (累計雨量 500mm、名取市では約 180～250mm)	台風 18 号により、栃木県、茨城県、宮城県に大雨特別警報が発表され、記録的な豪雨となった。 常総市で鬼怒川の堤防が決壊、大崎市で渋井川の堤防が決壊した。	屋外で 5 人、車で 2 人、土砂災害で 1 人が亡くなった⇒ <b>不要な外出は控える。浸水しやすい低地の平屋やがけの近くでは早めの避難</b>

## &lt;家族の状況&gt;

氏名	かかりつけの病院	携帯電話番号
生年月日	持病・常備薬	会社・学校等の名称
血液型		会社・学校等の電話番号
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
年 月 日 型 Rh +・-		
避難場所		
家族の集合場所		

### ＜我が家の状況＞

東日本大震災での状況	家具の転倒 有 ・ 無
9・22 集中豪雨の時の状況	床上浸水 ・ 床下浸水 ・ 浸水なし
建築年	昭和 ・ 平成 年 （ 昭和 56 年より 前 ・ 後 ） ※昭和 56 年以前の建物は耐震診断を受けましょう
家屋の構造	平屋 ・ 2階以上 / 木造 ・ 軽量鉄骨
	平屋の場合：浸水時の避難先 [ ]
自宅の周辺	浸水しやすい地域に ある ・ ない
	近くにがけや斜面などが ある ・ ない
	風で飛ばされやすいものが ある ・ ない
災害時の備え	非常持出品の用意 有 ・ 無
	災害備蓄品の用意 有 ・ 無
	携帯ラジオの用意 有 ・ 無
	消火器の用意 有 ・ 無

### ＜防災カード＞

氏名：	生年	年	氏名：	生年	年
	月日	月 日生		月日	月 日生
住所：			住所：		
電話番号：	血液型	Rh +・-	電話番号：	血液型	Rh +・-
家族（保護者）	氏名：		家族（保護者）	氏名：	
	電話番号：			電話番号：	
会社・学校等の名称：			会社・学校等の名称：		
電話番号：_____（外側に折る）			電話番号：_____（外側に折る）		
かかりつけの病院：			かかりつけの病院：		
持病・常備薬：			持病・常備薬：		
その他：			その他：		

※コピーしてカバンなどに入れて携帯しましょう



## 愛島地区の避難場所

区分	名称	電話番号	備考※
指定避難所	愛島公民館	0 2 2 - 3 8 2 - 2 4 2 2	土砂
	愛島小学校	0 2 2 - 3 8 2 - 2 5 3 8	土砂、水害
	愛島老人憩いの家	0 2 2 - 3 8 2 - 0 6 4 2	
	北目生活センター	—	
	仙台高等専門学校 名取キャンパス	0 2 2 - 3 8 4 - 8 0 1 3	土砂
	不二が丘小学校	0 2 2 - 3 8 2 - 2 0 9 7	土砂、水害
地域の一時避難場所、 自主防災組織の役員			

※土砂：土砂災害の指定緊急避難場所

平成 28 年 1 月現在

※水害：水害の指定緊急避難場所

## 災害時の連絡先

区分	名称	電話番号
市役所	名取市役所	0 2 2 - 3 8 4 - 2 1 1 1
警察 1 1 0	岩沼警察署	0 2 2 3 - 2 2 - 4 3 4 1
	館腰交番愛島連絡所	0 2 2 - 3 8 2 - 0 2 4 6
消防 1 1 9	名取市消防本部	0 2 2 - 3 8 2 - 0 2 4 2
	名取市休日夜間急患センター	0 2 3 - 3 8 4 - 0 0 0 1
	災害伝言ダイヤル	1 7 1

## 親戚・知人などの連絡先

氏名	電話番号	備考

## 名取市総務部防災安全課

〒981-1292 名取市増田字柳田 80

電話 022-384-2111